

授業料全額免除対象家計モデル（平成24年度の実績を参考）

この授業料全額免除のモデルは、世帯主1名の収入を基準としたものです。授業料免除判定の基準となる家計評価額が「－100万円以下」の場合に全額免除の目安となりますが、免除できる予算額が定められていること、授業料免除有資格者が多い場合には、家計評価額が基準に達している場合でも、必ずしも免除されるとは限りません。また、修得単位数が一定の基準以上ない場合等は、免除の選考対象とはなりません。（収入はすべて税込金額）

学部学生

2人家族 母子(父子)家庭
自宅外通学者

世帯主(家計支持者)の収入
318.5万円

家族構成
母
本人(自宅外通学)

$$\begin{aligned} \text{家計評価額} &= \text{家計支持者の収入} - \text{所得控除} - \text{自宅外通学控除} - \text{母子控除} - \text{収入基準額} \\ -100\text{万円} &= (318.5\text{万円} \times 0.7 - 62\text{万円}) - 72\text{万円} - 49\text{万円} - 140\text{万円} \end{aligned}$$

3人家族
自宅通学者
世帯主(家計支持者)の収入
217.1万円

家族構成
父 母
本人(自宅通学)

$$\begin{aligned} \text{家計評価額} &= \text{家計支持者の収入} - \text{所得控除} - \text{自宅通学控除} - \text{収入基準額} \\ -100\text{万円} &= (217.1\text{万円} \times 0.7 - 62\text{万円}) - 28\text{万円} - 162\text{万円} \end{aligned}$$

自宅外通学者
世帯主(家計支持者)の収入
280万円

家族構成
父 母
本人(自宅外通学)

$$\begin{aligned} \text{家計評価額} &= \text{家計支持者の収入} - \text{所得控除} - \text{自宅外通学控除} - \text{収入基準額} \\ -100\text{万円} &= (280\text{万円} \times 0.7 - 62\text{万円}) - 72\text{万円} - 162\text{万円} \end{aligned}$$

5人家族
自宅通学者
(大学に通う家族のいる場合)

家族構成
父 母
本人(自宅通学) 姉(自宅通学)
兄(自宅通学)

世帯主(家計支持者)の収入
484.2万円

$$\begin{aligned} \text{家計評価額} &= \text{家計支持者の収入} - \text{所得控除} - \text{自宅通学控除} - \text{就学者控除} - \text{就学者控除} - \text{収入基準額} \\ -100\text{万円} &= (484.2\text{万円} \times 0.7 - 62\text{万円}) - 28\text{万円} - 59\text{万円} - 101\text{万円} - 189\text{万円} \end{aligned}$$

(国立大自宅通学) (私大自宅通学)

自宅外通学者
(中学・高校に通う家族のいる場合)

家族構成
父 母
本人(自宅外通学) 弟(高校生)
妹(中学生)

世帯主(家計支持者)の収入
381.4万円

$$\begin{aligned} \text{家計評価額} &= \text{家計支持者の収入} - \text{所得控除} - \text{自宅外通学控除} - \text{就学者控除} - \text{就学者控除} - \text{収入基準額} \\ -100\text{万円} &= (381.4\text{万円} \times 0.7 - 62\text{万円}) - 72\text{万円} - 16\text{万円} - 28\text{万円} - 189\text{万円} \end{aligned}$$

(中学生) (公立高自宅通学)

(これは給与所得者を対象としたモデルであり、自営業などの場合には、確定申告を元に別途所得を確定しますので、結果が異なる場合があります。)